

東京都立墨田川高等学校令和5年度 教科 外国語 科目コミュニケーション英語III 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語III 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～H組

使用教科書：(Skillful English Communication III (啓林館))

使用教材：(Skillful English Communication III Workbook (啓林館)、Skillful English Communication III 予習ノート (啓林館)、Listening Ace 10 Upgraded改訂版.Rapid-Reading Training 共通テスト英語読解トレーニング Rapid-Reading Training 共通テスト英語読解トレーニングNAVI BOOK

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Skillful English Communication III Lesson1,2 共通テスト 読解トレーニング Training 1, 2 Gateway Part 2-5, 6 まとめの問題 Part 2-7 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 1,2	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	10h
5月	Skillful English Communication III Lesson2, 3 共通テスト 読解トレーニング Training 2, 3 Gateway Part 2-7, 2-8 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 2, 3	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	12h
6月	Skillful English Communication III Lesson4, 5, 6, 7 共通テスト 読解トレーニング Training 4, 5, 6, 7 Gateway Part 2-9, 2-10 Part 2-7 - 10 まとめの問題 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 4, 5, 6, 7	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	16h
7月	Skillful English Communication III Lesson8 共通テスト 読解トレーニング Training 8, 9 Gateway Part 3-1 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 8, 9	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	8h
8月	Skillful English Communication III Lesson9 共通テスト 読解トレーニング Training 10 Gateway Part 3-1, 3-2 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 10	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	4h

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	Skillful English Communication III Lesson9, 10, 11 共通テスト 読解トレーニング Training 11, 12, 13 Gateway Part 3-3, 3-4, 3-5 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 11, 12, 13	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	12h
10月	Skillful English Communication III Lesson12, 13 共通テスト 読解トレーニング Training 14, 15, 16 Gateway Part 3 まとめの問題 入試問題の英作文問題 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 14, 15, 16	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。並行して、実力養成期と位置づけ、時に大学入試問題を扱いながら、読解力の強化と、記述問題への対応力を養う	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	16h
11月	Skillful English Communication III Lesson14, 15, 16 共通テスト 読解トレーニング Training 17, 18, 19 入試問題の英作文問題 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 17, 18, 19	生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。並行して、実力養成期と位置づけ、時に大学入試問題を扱いながら、読解力の強化と、記述問題への対応力を養う。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	16h
12月	Skillful English Communication III Lesson17, 18, 19 共通テスト 読解トレーニング Training 20 入試問題の読解問題 入試問題の英作文問題 Listening Ace 10 Upgraded Lesson 20 入試問題のリスニング問題	大学入学共通テストの問題形式に慣れると同時に、不足している知識を確認し、補う。	読解力→小テスト 読解力→演習問題、模擬問題 リスニング力→小テスト 英作文力→課題添削	12h
1月 3月	共通テスト 対策ドリル	大学入学共通テストの問題形式に慣れると同時に、不足している知識を確認し、補う。		8h
				計
				124h

令和5年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・英語表現Ⅱ	講座名	英語表現Ⅱ	対象年次	3
				単位数	2
教科書	Vision Quest English Expression II Ace				
副教材等	アップグレード英文法・語法問題、アップグレード英文法・語法問題完全演習「標準・ランダム」編、入試必携英作文（Write to the Point）				

学習目標	最終年次生として共通テストから各大学個別入試までの入試問題に対応できる文法語法および英作文の力をつける。
------	--

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月	第一回定期考査	アップグレード完全演習実践標準編①～③、アップグレード英文法・語法問題Part1①～③、入試必携英作文1, 2	10h	時制・助動詞・仮定法 英作文（主語の決定(1), (2)）	入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。
5月	第二回定期考査	アップグレード完全演習実践標準編④～⑥・アップグレード英文法・語法問題Part1④～⑥、入試必携英作文3, 4, 5	10h	態・不定詞・動名詞 英作文（目的の表現、理由の表現、時制（1））	入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。
7月	第三回定期考査	アップグレード完全演習実践標準編⑦⑨⑩。アップグレード英文法・語法問題Part1⑦⑨⑩、入試必携英作文6, 7, 8	10h	分詞、接続詞、関係詞 英作文（時制(2)、動詞の語法SVOC, 関係詞）	入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。
10月	第四回定期考査	アップグレード完全演習実践標準編⑪⑫⑬、アップグレード英文法・語法問題Part1⑪⑫⑬、入試必携英作文9, 10, 11	14h	疑問文、比較、否定 英作文（時間の表現、数字の表現、仮定・条件）	入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。
12月	第五回定期考査		h		
評価の観点・方法		評価は、定期考査及び授業内で実施する小テスト、課題の提出状況、出席状況、授業への取り組みなどを総合的に判断して決定する。			